

製品名: イブシロンチューブリンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM84952**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | epsilon Tubulin |
| 別名 | FLJ22589; TUBE1; tubulin epsilon 1; ε tubulin |
| 遺伝子 ID | 51175.0 |
| SwissProt ID | Q9UJT0 |
| 免疫原 | KLH に結合した合成ペプチド。 |

背景

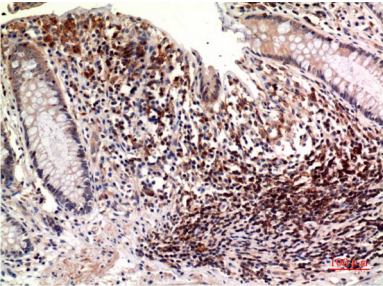
この遺伝子はチューブリンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、中心体複製後に 2つの中心小体

のうち古い方の中心小体と関連する中心小体垂遠位付属器に局在します。このタンパク質は、中心小体複製中の微小管の組織化において中心的な役割を果たします。この遺伝子の偽遺伝子は5番染色体上にあります。

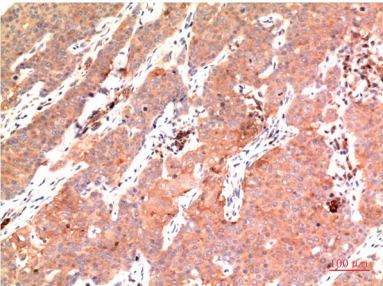
研究分野

-

画像データ



イプシロン チューブリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



イプシロン チューブリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。